

てつのライフヒストリー

現在のてつ 自己紹介

診断：つい最近、サービス利用のためにASDの診断はついたけど…

20歳前後に療育手帳や年金の申請をしたが、ダメだった自己診断「過去に縛られている(トラウマ)から抜けられない症候群」

お仕事：今は仕事は特にしていないが、ここ数年はA型就労で放課後等デイサービスの補助員をやっていた

生い立ち

- 父、母、弟の4人家族
- 巨人の星の星一徹のような父(普段はしゃべらないが、ちゃぶ台返しで表現する 長距離トラックの運転手で不在がち)
- 母は自分を虐待(身体的、心理的、ネグレクト) のちに知ったがうつで通院していたらしい 今思うとDV被害者だったかも
- 年子の弟は母にかわいがられていた

弟は可愛がられる子ども、自分はストレス解消用の子ども
よくいたずらをして怒られていた(自分の中では気づいてほしくてやっていた)

子ども時代の記憶、風景

- 公園の雑草を食べていたり、スーパーで食べ物(惣菜系)を万引きして食べていた (万引きは黙認されていた)
- 野良犬と野良猫が友達
- おばあちゃんだけは気づいてくれていて、自分だけを泊まりに誘ってくれたりした(避難させてくれたのでは)

学校時代

- 小2で母親が失踪し、父と祖母との生活になり、ご飯を食べられるようになる(祖母は虐待に気づいていたが、父と弟は気づいていなかった)
- 学校では教室にいられず、用務員室で茶菓子を食べていたり、校長室にいたり
- 友達は仲良くなっても親に止められる
- 小6の先生が自分のことに気づいてくれて、友達もできた

学校では問題児だったけど、周囲に自分のことを見てほしい、わかってほしい、助けてのサインだったと思う

転機(中学校)

- 中1で部活に入り、先輩にねたまれいじめにあう(不登校になる)
- 中2のある日、些細なことで怒りがこみ上げ、祖母の首をしめ暴れ、精神科に医療保護入院となる
- 退院後は一時保護経由で障害児入所施設に措置される

今考えると、これまでのいろいろなことを含めて
「もう無理なんだよ〜！」の表現だったかも

施設生活(中2から高校卒業まで)

- 中2～高1まで障害児入所施設(楽しかった、動物とのふれあい、親身になってくれる職員)
- 高2～3は児童養護施設(すごい嫌だった 福祉の印象を悪くした経験 強制や暴力や差別があった)
- 卒業後は地元に戻り、NPOの支援を受けることになる

中3の夏休みに初めて帰省した際に、父と弟に虐待されていたことを伝える(人生で初めて父親に謝られた 嬉しいよりも驚愕で頭真っ白？弟は納得いった感じ)

卒業後～今 その1

- 手帳取得できず、制度外で何となくの支援を受けるも、定着せず、就労や住まいを転々とする(生活保護と夜の世界を行ったり来たり)
- 20代後半でNPOの下宿で引きこもり暮らしが2～3年続くが、いわゆる「ゴミ屋敷」となる お風呂にも入らなかった
引っ越し時には約400キロのごみを処分 掃除をサポートしようとする支援者を避けるように暮らしている
- 2015年ぐらいから若者の当事者活動に関わるようになり、半年に1回活動参加し、人とのつながりを作るようになる
- 2019年にゴミ屋敷を脱出し、グループホームなど制度の利用につながる

卒業後～今 その2

- グループホーム利用後も対人のトラブルが多く(自分の気持ちを言えない、誘いやお願いを断れないなど)ストレスをためる ※同年代や年下、対人などに課題のある人とはうまくいかなかったが、小さな子どもや年下の女の子などとは比較的良好だった 支援者との関係も少しずつ蓄積していった
- 人の刺激を最小限にするため、サテライトタイプのグループホームに移ることで日常生活が落ち着く(就労支援で仕事をしたり、休んだり、したり…)

相談や支援について

ぼくは、過去にぐちゃぐちゃいろいろあって、ガチ引きこもりだったけど、若者活動への参加をきっかけに、気付いたら少し落ち着いた今の生活になっていた。でも、まだ不安と不信に襲われる。うまく付き合っていける方法はないのか？

朝比奈さんキーワード

「人間不信って何だろう？」